

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	日本史探究	単位数	3単位	学年・学科・コース	2年・普通科・普通コース（文系）
使用教科書	日本史探究（東京書籍）		副教材等	新詳日本史（浜島書店）	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察・構想・説明したりする力やそれらを基に議論したりする力を養う。 よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解している。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、文化の特色などを多面的・多角的に考察し、それらを基に議論している。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	第1編 先史・古代の日本と東アジア 第1章 先史社会の生活と文化	・旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立に至る時期の日本列島の歴史的環境と文化の形成とを関連付けて時代の転換を理解し、時代を通観する問いを表現する。	○			<ul style="list-style-type: none"> 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、先史社会の特色を理解している。 先史社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現できる。 先史・古代の日本と東アジアに関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、課題を追究しようとする。 	
				○			
					○		
5	第2章 歴史資料と先史・古代の展望	・資料から情報を収集して読み取る技能を身につけるとともに、読み取った情報から先史・古代の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しを持った学習を展開できるようにする。	○			<ul style="list-style-type: none"> 先史・古代の特色を示す適切な歴史資料から歴史に関わる情報を収集し読み取る技能を身につけている。 先史・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現できる。 学習の見通しをもって、古代国家の特色について明らかにしようとする。 	定期考査 授業態度 課題 ノート・プリント
				○			
					○		
6	第3章1節 古代社会の形成と展開「律令国家の形成と古代文化の展開」	・古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義などを多面的・多角的に考察し、先史から古代の政治・社会や文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	○			<ul style="list-style-type: none"> 先史から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、歴史に関わる諸事象の解釈などを根拠を示して表現できる。 内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとする。 	
				○			
					○		
7	第3章2節 「摂関政治と貴族文化」	・古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義などを多面的・多角的に考察し、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	○			<ul style="list-style-type: none"> 律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。 古代の国家・社会の変容について、歴史の画期などを根拠を示して表現できる。 内容に対して、自身の学習について振り返り、調整しようとする。 	定期考査 授業態度 課題 ノート・プリント
				○			
					○		
8	第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立	・院政期から武家政権成立期の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	○			<ul style="list-style-type: none"> 古代から中世への時代の転換を理解している。 古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現できる。 中世の日本と世界に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、課題を追究しようとする。 	
				○			
					○		

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
9	第2章 歴史資料と中世の展望	・資料から情報を収集して読み取る技能を身につけるとともに、読み取った情報から中世の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しをもった学習を展開できるようにする。	○			・中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 ・中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現できる。 ・見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとする。	
10	第3章1節 中世社会の展開「武家政権の成立と朝廷」	・中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義などを多面的・多角的に考察し、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	○			・武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。 ・中世の国家・社会の展開について、歴史に関わる諸事象の解釈などを根拠を示して表現できる。 ・内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとする。	定期考査 授業態度 課題 ノート・プリント
11	第3章2節「武家支配の広がり」と国際交流	・中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義などを多面的・多角的に考察し、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	○			・地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 ・中世の国家・社会の変容について、歴史に関わる諸事象の解釈などを根拠を示して表現できる。 ・内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	
12	第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成	・織豊政権の成立前後からの歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	○			・中世から近世への時代の転換を理解している。 ・時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現できる。 ・近世の日本と世界に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、課題を追究しようとしている。	
1	第2章 歴史資料と近世の展望	・資料から情報を収集して読み取る技能を身につけるとともに、読み取った情報から近世の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しをもった学習を展開できるようにする。	○			・近世の特色を示す適切な歴史資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 ・歴史資料の特性をふまえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現できる。 ・近世の日本と世界に関わる諸事象について見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 授業態度 課題 ノート・プリント
2 3	第3章1節 近世社会の展開「幕藩体制の確立」	・近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義などを多面的・多角的に考察し、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	○			・幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解している。 ・近世の国家・社会の展開について、歴史に関わる諸事象の解釈などを根拠を示して表現できる。 ・内容に対して、見通しをもって学習に取り組む、自身の学習について振り返り、調整しようとしている。	